

Message from New Staff

# 一年目職員からの メッセージ

全文版

---

## 質問項目

---

- ①文部科学省を選んだ理由
- ②入省前後のイメージのギャップ
- ③現在の職務内容
- ④文部科学省を目指す方へのメッセージ

---

※所属局課室は 2021 年 2 月現在のものです。  
※執筆した職員個人の意見であり、文部科学省としての統一見解では  
ありません。



スポーツ庁政策課

青山 裕一

Aoyama Yuichi

①まず第一に、仕事を選ぶ上で「やりがい」を求めました。日本の発展に貢献できるという点、日本の発展に不可欠なのは「ひと」の力を最大限に発揮できるような環境を作ることだと考えたので、文部科学省を選びました。また、教育や科学技術、スポーツ等様々な分野に携われるところも選んだ理由です。

②様々なバックグラウンドを持った人がいて、関心分野も様々なのでいろいろ勉強になります。

③スポーツ庁内の調整業務をメインで行っております。国会業務を中心に、法改正、審議会運営などの業務を行っております。

④頼りになる上司と気の合う同期と働いておりますので、環境は整っていると感じています。あとは皆様が、なにをしたいか次第です。本当にやりたいことをじっくり考えていただき、その上で文部科学省を選んでいただけたら最強です！



初等中等教育局  
初等中等教育企画課

秋山 莉菜

Akiyama Rina

①山梨で育った私は、都心の高校教師として勤める中、地域間の教育機会格差に問題意識を持ちました。そこで、子供の進路選択へ影響を及ぼす人・情報・機会の量や質の地域間格差を、学校教育でいかに縮小でき得るかについて大学院で研究しました。その問題解決へ今度は国の行政官として携わってみたいと考え、文部科学省の門を叩きました。

②入省したら国の教育政策の立案・執行へすぐ直接的に携われると思いきや…部署によりけり、だったことです。

③初等中等教育局の「顔」として、省内外からの仕事依頼に対する受付業務をしています。

④いわゆる「高齢受験」や「新卒でないこと」が不安な方、大丈夫です！私は学校教員勤務を経て30才で入省しています。文部科学行政に対するあなたならではの見方や思いをぜひ、面接でアピールしてください。



大臣官房人事課  
計画調整班

安達 琴音

Adachi Kotone

①これまでの人生で、自身が恵まれた環境にいて、それが当たり前のことではないと実感しました。教育を通して人々が持っている可能性を広げ、その人自身の力で未来を切り拓けるような社会にしたいと思い、志望しました。

②想像していたよりも多種多様なバックグラウンドを持つ方が文部科学省で働いていて、総じて皆さん良い人です。

③内部管理（人事、給与、福利厚生）や採用関係、栄典などを所管する人事課の連絡調整業務を担当しています。

④皆様が思い描く理想の社会像や自分のやりたいこと、なりたい姿と真摯に向き合って、その結果文部科学省を選んでいただけるのであれば嬉しい限りです。我々1年目職員という言葉が皆様の職業選択の一助となれば幸いです。



研究開発局開発企画課

五十嵐 博己

Igarashi Hiroki

①世の中を良くしたいという共通目標のもとチーム一丸となって仕事に取り組むことができ、科学技術をはじめとする未来を創る4分野の発展により安心して笑顔で生活できる明るい未来を実現したいと考え、文部科学省を志望しました。

②忙しく休めない職場だと思っていましたが、土日や祝日はしっかりと休める上、定期的に年休取得が出来る点にギャップを感じました。

③省内の他部署や他省庁に対する局の窓口役となり、各種照会や連絡調整を行う他、予算や国会関連業務を担当しています。

④文部科学省は未来省と呼ばれる程、前を向いて働くことができ、責任は重大ですがやりがいや楽しさのある職場です。ここで働くために重要なことは、やりたいことを一生懸命考え、熱意や意志を忘れずに持ち続けることだと思います。頑張ってください！



科学技術・学術政策局  
研究開発基盤課

## 石井 大悟

Ishii Daigo

- ①就職活動で説明会等に参加する中で、話しやすい方が最も多かったのが文部科学省だったからです。
- ②ポジティブな面でもネガティブな面でも、そこまでギャップを感じることはありませんでした。
- ③当課の所掌事務（研究施設等の共用の促進、挑戦的な研究開発の支援、機微技術の管理、等）を円滑に遂行できるよう、調整役の一端を担っています。
- ④就活が何となく不安な方は、「なぜこの省庁の職員になりたいのか？（≒この選択で自分は幸せになれるのか?）」という問いにしっかりと向き合い、ご自身が納得できる答えを見つけてみてください。皆様の御健闘をお祈りしております。



総合教育政策局  
生涯学習推進課

## 岩瀬 優

Iwase Yu

- ①学生時代を地方で過ごす中で、教育機会や環境の格差に関心をもったのがきっかけでした。その中で、誰もが自分らしい選択をし、生涯にわたって学び挑戦し続けることが可能な社会の制度づくりに携わりたいと思い、文部科学省に入省しました。
- ②若手職員が積極的に意見や情報を発信したり、施策の推進に取り組んでいく雰囲気があることが印象的でした。
- ③社会人の学び直しや専修学校教育の振興等といった生涯学習推進に関わる取組を所管する部署において、課全体の連絡調整業務を担当しています。
- ④文部科学省での業務はどれも人々の生涯に様々な角度から関わるため責任も大きく、日々勉強の毎日ですが、それだけやりがいも大きいです。私たちのメッセージを見てくださった方々といつか一緒に仕事ができれば嬉しいです。



科学技術・学術政策局  
政策課

## 宇都宮 知也

Utsunomiya Tomoya

- ①①大学院までで学んできた知識・経験を活かして、特に基礎研究の振興支援に取り組みたいと思ったため。②科学技術・学術分野以外にも、特に関心の高い教育分野を含めた多様さに魅力を感じたため。③官庁訪問の面接を経て、志望度が上がったため。
- ②想像以上に非生産的な業務が多く、政策立案の検討に十分なエフォートが割けているとは言い難いこと。
- ③局の筆頭課総括として、局外からの連絡窓口、調整、総括業務。皆が平穩に気持ちよく仕事ができるように役割を果たすことが目標。
- ④①他府省庁、また民間企業も検討した上で、文部科学省でこれをやりたいという目標、軸を見つけてもらえればと思います。②仕事で大事なものは「人」だと私自身この1年で強く感じました。忙しい中でも人を大切に働こうという方は、ぜひ文部科学省を選択肢の一つとしてもらえれば幸いです。



大臣官房政策課

## 梅津 太紀

Umetsu Taiki

- ①科学技術行政に関与することで、将来の国益向上、国民の生活水準の向上に寄与貢献したいと考えたため。また、数十年後の未来を考慮し、今後の社会発展を教育や技術を通して実現していく、という文部科学省の未来志向性の強さに魅力を感じました。
- ②入省前に想定していたよりも文部科学省の所掌範囲が広く、驚きました。
- ③文部科学省における政策の評価、EBPMの取りまとめおよび、現場との対話を重視した政策立案手法の検討を行っています。
- ④文部科学省は、この国の未来を創る省庁です。短期的にはなかなか結果の出ない分野ではありますが、数十年後の日本をより良くしていくためには文部科学省の施策は不可欠だと考えています。皆さんと一緒にこの国の未来を創っていくのを楽しみにしています！



高等教育局  
国立大学法人支援課

## 大石 貴澄

Oishi Takasumi

①多種多様な研究分野のそれぞれで、十分な研究が行える環境を用意したいという思いから入省を決めました。また、大学院での研究を通じ、日本の文化の保護・振興にも関心を持っていたため、関連する職務に携われるのも魅力的に感じました。

②ある程度の裁量をもって行える業務が意外と多いことにギャップを感じました。

③国立大学法人の支援全般に関わる業務を行っています。また、所管する法令の改正なども担当しています。

④文部科学省は、教育・研究・文化・スポーツと多様な分野の業務に携われるのが非常に魅力的な点だと感じますし、キャリアパスの上でも1つの分野に留まり続けることはありません。自分の関心ある分野を絞らずに、幅広い興味をもって臨むのがいいと思います。



大臣官房総務課

## 大城 大

Oshiro Dai

①自身も苦労した経験から、家計や環境などによって子供たちの選択肢が狭められることがない世の中にしたいと考えたこと、幼い頃より科学技術の可能性に心を動かされ、その探求の場を支えたいと考えたことから、文部科学省を志望しました。

②お堅い雰囲気はなく、むしろ気を緩め過ぎないように注意しなければいけないほど明るくコミュニケーションのある職場でした。

③国会や大臣等の政務、政党に関わる業務を主に担当しています。政策実現に不可欠な政治現場の動きを垣間見ることができます。

④仕事は思った以上に過酷なこともあります。それを補って余りある「人」の魅力が詰まった職場です。頼れる同僚・上司の中で、あなたの実現したい社会を目指してみませんか？



大臣官房総務課

## 太田 叡

Ota Satoshi

①教育を通して一人一人が自分を表現できる社会にしたいと考えたのが一番の理由です。また、文部科学省は大きな可能性を秘めた多くの分野を所管し、未来を形作ることができる省庁です。そんな希望に満ちた業務に携わりたいと考え志望しました。

②役所というとお堅いイメージがありましたが、とても明るく会話の絶えない職場で日々メリハリをつけて取り組んでいます。

③省の窓口として、各自治体等からの要望対応、法令改正の審査業務、他省庁との調整業務等を行っています。

④文部科学省は幅広い分野を所管しているため一つの課題に対して多方面からアプローチでき、また様々な経験ができるため日々刺激に満ち、社会と共に自分自身も成長していくことができる職場だと思います。そんな職場で皆さんと一緒に課題に取り組める日を楽しみにしています。



総合教育政策局政策課

## 小川 七星

Ogawa Nanase

①もともと差別や偏見、ステレオタイプといった分野に興味があり、大学院でもその研究をしました。教育は、そういった問題・社会構造を維持するあるいは解消する手段になりうると考え、携わってみたいと思ったのがきっかけです。

②意外と足元が自由なこと。もちろんTPOはあるが、スニーカー通勤の人や、省内だとサンダルの人も多いです。

③中央教育審議会や教育振興基本計画、文部科学白書など、教育政策全般や教育改革に関連する事柄を扱っています。

④試験の勉強も重要だし大変ですが、個人的には、学業や課外活動、仕事や今取り組んでいることをまず大事にすると良いのではないかと思います。就活でもそこが評価されることが多いです。その先でも役に立つはずですよ。



大臣官房政策課

## 小澤 英雄

Ozawa Hideo

- ① 社会全体に大きな影響を与える仕事をしたいと思っており、また自分の人生に大きな影響を与えてきた「人をつくる」教育に携わるような職種に就きたいと思いましたので、文部科学省を選びました。
- ② 入省前のイメージより、ずっと働きやすい環境でした。
- ③ 文部科学省の窓口として、経済対策や骨太の方針等を取りまとめています。
- ④ 日本の教育等の在り方を真正面から議論できることがこの仕事の最大の魅力だと思います。頑張ってください。



研究開発局  
宇宙開発利用課

## 加藤 貴純

Kato Takasumi

- ① 私は、幅広い分野の科学技術に携わることのできる文部科学省の業務に魅力を感じたため入省を希望しました。また、文部科学省で働くことで、私の夢である「ドラえもんが居る社会」の実現に貢献できると考えたことも理由の一つです。
- ② 文部科学省で働く職員は想像していたよりもバラエティに富んだ人々であり、絶対に飽きることのない職場を構築していました。
- ③ 日本の宇宙開発と利用の発展に向け、新型ロケットや衛星の開発と運用に携わっています。現在は H2A ロケットの打上げに関わる業務も行っています。
- ④ 働き始めると辛いこともいっぱいありますが、普通の仕事では絶対に味わえない業務の楽しさも沢山あります！様々な科学技術の発展に貢献することや、研究者とは違う立場で携わることに興味がある方は是非、入省を検討してみてください！



スポーツ庁  
健康スポーツ課

## 楠 凱斗

Kusunoki Gaito

- ① 自分は小学校から大学まで野球に打ち込んでおり、その経験からスポーツ行政に興味を持ちました。そして、国という立場から様々な形でスポーツを振興したいと思い、スポーツ行政を所管している文部科学省を志望しました。
- ② もっと厳しい職場環境かと思っていましたが、同僚・上司は非常に優しく接してくれ、常に的確なアドバイスをしてくれます。
- ③ 議員対応等の総合調整業務、健康スポーツ部会の準備・運営、スポーツ推進委員の活用策の検討等を行っています。
- ④ 文部科学省では、日々全ての職員が、どのようにしたらこれからの日本の教育・科学技術・スポーツ・文化が良い方向に進んでいくかを真剣に考えて業務に取り組んでいます。皆様と一緒に働ける日を心待ちにしています！



科学技術・学術政策局  
人材政策課

## 久保 竜馬

Kubo Ryuma

- ① あらゆる人々が生まれた環境などに制限されることなく、自分の可能性を最大限に発揮できる世の中を作る仕事がしたいというのが私の就活の軸でした。文部科学省では、教育・科学技術・文化・スポーツという幅広い分野でそのような仕事に携われると思い、志望しました。
- ② 1 年目からでも参加できる組織横断的なチームがあり、早いうちから政策提言に携わることができるのは驚きでした。
- ③ 科学技術分野の次世代人材の育成や若手・女性研究者の支援などを所管している部署に所属しており、個人的な業務内容としては、各案件の調整や取りまとめなどを行っています。
- ④ 文部科学行政に関して日々どのような議論がされているか知れることは、この仕事をしていて面白いと感じることの一つです。責任の大きい仕事ですが、世の中に広く影響する仕事なので、とてもやりがいがあります。

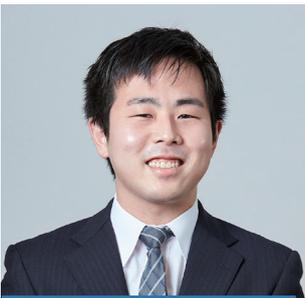


研究開発局原子力課

## 黒田 玄

Kuroda Gen

- ①大学で研究室に配属されてから、教授に話を伺うことで、研究に関わる人材や環境に様々な問題が生じていることが分かりました。それらの問題を少しでも減らすために、研究を公職の立場から支援したいと考え文部科学省を志望しました。
- ②一番大きかったギャップは職場の皆さんがプライベートでの遊びにも全力投球だったことです。公務員には良くも悪くも真面目なイメージを持っていたので、良い意味で衝撃を受けました。
- ③業務全般の総合調整や、日本原子力研究開発機構との連絡業務等により、原子力に関する研究開発の推進業務を行っています。
- ④文部科学省は人材育成や研究開発の推進等、国力の土台作りに直接携わることのできる魅力的な職場です。文部科学省を目指しておられるということは少なからずこの国の未来を良くしたいというパッションに溢れている方々だと思いますので、是非とも僕たちと共に、同じ想いを胸にして働きましょう！



初等中等教育局  
健康教育・食育課

## 小池 佑生

Koike Yuki

- ①教育、スポーツ、文化、科学技術といったツールを用い、人々が自らの生き方を自由に選択できる社会を実現したく志望しました。また、官庁訪問等で職員の方々と自分の素の状態楽しく話すことができ、ぜひ一緒に働きたいと思った点も理由の一つです。
- ②学校での現場経験がある方や地方公共団体の職員さん等、思った以上に様々なバックグラウンドを持った方が働かれている点が意外でした。
- ③学校における感染症対策、学校給食、食育等を扱う課に所属し、日々他課や他省庁との連絡調整を行っております。
- ④就職活動中は迷う場面も多くあるかと思いますが、そのような時は自分の率直な気持ち（こういう時に楽しいと思える、やりがいを感じるなど）を大事にしてください。迷い抜いた結果、文部科学省を選択して頂ければ大変嬉しく思います！



科学技術・学術政策局  
研究開発基盤課

## 古関 良多

Koseki Ryota

- ①学生時代に医療現場での実習を経験し、科学技術の発展が進むにつれて救える命が増え、また QOL を向上させていることを実感しました。そのため、科学技術の発展に貢献し人々の健康や豊かな生活のために寄与できる文部科学省に魅力を感じました！
- ②1年目がやることは雑務くらいかと思っていましたが、その政策についての知識と理解が備わっていれば、根幹に関わるようなポイントの意見を聞き入れてもらえることには大きなギャップを感じました！
- ③近年目覚ましい技術進展により、今後の社会を支える技術として注目されている量子科学技術の推進を目指し、「光・量子飛躍フラッグシッププログラム (Q-LEAP)」の実施や「量子科学技術研究開発機構」の運営等に携わっています！
- ④文部科学省は、培ってきた知識と経験をフル活用して未来を創るやりがいのある仕事だと思っています！困難に直面しても、同じ志をもった職場の仲間と力を合わせ楽しみながら、業務に取り組んでいます。同じ志をもった、皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています！



初等中等教育局財務課

## 小松 隆宏

Komatsu Takahiro

- ①中国人の家庭に生まれ、日本で育った私にとって、学校現場にあった「みんな同じ日本人」という同調圧力が息苦しく感じることもありました。「同調圧力のある学校現場より多様性を子供たちの学びにできる環境をつくるべきなのではないか」と思い文部科学省の門を叩きました。
- ②新人にも責任のある仕事を任せてもらえるのでやりがいがあります。官僚の働き方について取りざたされる昨今、現状維持と変革のはざまに立つこともあり、働き方改革の難しさを感じています。
- ③人手不足の教育現場とコロナ禍で苦境に立たされる企業をむすぶ「学校雇用シェアリンク」の立ち上げに関わりました。企業のを学校に届ける良いチャンスだと思っています。
- ④自分の仕事が色々な人の役に立っているということを想像しながら、影響の大きな仕事を楽しめる人には向いている仕事だと思います。ぜひ、皆さんの熱い思いを聞かせてください。



大臣官房文教施設企画・  
防災部施設助成課

## 酒井 裕美子

Sakai Yumiko

- ①教職課程や児童デイサービスのボランティア、留学等の経験を通じ、どんな人であっても心ゆくまで学び、自己実現を達成して豊かな生活を送ることに貢献したいと考えました。
- ②細々とした定例の作業の多さに当初は驚きました。効率的かつ正確に作業できるよう頑張っています。
- ③公立小中学校等の施設整備に対する補助を行っている課で、連絡ラインとして課内外の調整業務・国会対応等を行っています。
- ④教育行政は成果がすぐに見えづらく大変難しい政策分野ですが、子供たちをはじめ国民全体に大きな影響を与える、とても重要で背を向けてはならない仕事であり、多くの人生をさらに豊かにできる魅力的な仕事です。ぜひ希望と夢をもって、文部科学省で力を発揮してください。



科学技術・学術政策局  
政策課

## 澤田 夏樹

Sawada Natsuki

- ①自分の好きなことを楽しそうに取り組んでいる人間が好きなので、教育、研究への支援、文化、スポーツとあらゆる面からその人の好きなことを応援できる文部科学省に入省しました。
- ②文部科学省は大人しい職員が多いイメージでしたが、部屋の端から端まで声を通るような大きい声で会話する職員もいるくらい、明るい人も多いです。
- ③科学技術分野における国際活動について研究3局の取りまとめ課として、省内外との連絡・調整を行っています。
- ④あまり気負わず自然体でいることが一番だと思います。文部科学省に限らず、やるべき事はやって無理せず普通にしていれば、採用してくれるところが就職した後も無理せずやっていける職場だと思います。



高等教育局専門教育課

## 菅原 愛

Sugahara Megumi

- ①全ての人が可能性の芽を伸ばして生き生き活躍できる社会にするために、知見・人間性ともに育む場である教育分野における課題解決はとても意義のあることで、文部科学省は制度の整備・運用を通じて欠かせない役割を担っていると思ったからです。
- ②保守的なイメージだったが、生産性向上やバリューの出し方を考えて積極的に業務改善を模索する人も少なからずいたことです。
- ③理工系・人文社会系等、様々な分野の専門人材育成について検討する部署（情報教育の一環で大学等のDXも検討）で連絡調整業務を担当しています。
- ④組織に属している限り思い通りの業務内容を実現することは中々できませんが、目の前の業務・人から常に何かを吸収してビジョンを持てるかは自分次第です。教育分野での価値創造をしたい人にとって文部科学省での業務は必ず何かのヒントになるはずですよ。



初等中等教育局修学支援  
プロジェクトチーム

## 曾和 小百合

Sowa Sayuri

- ①大学生の時に学習支援の活動をしていた経験や、途上国での教育現場を目にした経験から、生まれた地域や家庭環境にかかわらず自分の生きる道を選択できる力を育む社会を実現したいと思ったためです。
- ②若手は下積み期間と思っていましたが、1年目職員にも挑戦の機会は開かれており、視点の持ち方・行動次第だと思いました。
- ③高校の授業料の実質無償化等、児童生徒に対する経済的支援を行う部署で、連絡調整業務や窓口業務を行っています。
- ④実現したい理想の社会について考えることはもちろん大事ですが、それを達成することが自分の自己実現にどうつながるかはもっと重要だと思っています。そのイメージを持つためにも色々な職員と話してみてください。コロナ禍で大変だとは思いますが、応援しています。



研究開発局  
地震・防災研究課

## 津田 寛大

Tsuda Hiroo

- ① 科学技術が好きなので、その振興に携われる文部科学省を選びました。最終的には、官庁訪問で会った職員が皆真面目で優しく、それでいて個性的で、この人たちと働くのは面白そうだと思ったことが決め手になりました。
- ② 思っていたより、出向してきている方が多いです（私の課は特に多いのですが）。多様性があり、面白いです。
- ③ 主に、地震・防災研究を推進する事業の予算獲得や進捗管理に関わる連絡調整（取りまとめみたいなもの）です。
- ④ 文部科学省の所掌する業務は、他にないくらい幅が広いので、好奇心旺盛な人におすすめです。職員のバックグラウンドも多様なので（私も博士課程出身だったりします）、人好きの人にとっても面白い職場だと思います。



研究振興局  
ライフサイエンス課

## 出口 確

Deguchi Katashi

- ① 日本が生き残るほぼ唯一の手段である科学及び科学技術と、それを担う人材を育成するという双方を担う省であることに魅かれました。自分自身が、長らく基礎科学分野の研究に携わり、公教育に多少関わってきた故だと思います。何より、自分を採用してくれたことが文部科学省を選んだ理由です。
- ② ライフサイエンス課に関する限り、仕事の多くが、予算獲得に向けたものだとわかりました。
- ③ ライフサイエンス課では、「健康・医療戦略」に関わる省内の関係各課や課内、関係府省庁との連絡・調整業務や、委員会の運営、財務省への予算要求に関係する資料作成や取りまとめを行いました。10月以降の「大学ファンド」関係では、省内や内閣府との連絡・調整や議員・国会対応に関わる様々な雑務を行いました。
- ④ 入省後1年足らずで省の“魅力”を感じてきたわけではありませんが、科学や科学技術の基礎から応用、教育、文化、スポーツ、取りまとめ、といった多様な分野の業務があります。採用時の区分によらず、様々な領域で働く機会があるはずです。広い視野と興味とをもってこのような仕事に携わりたいとお思いの方と、将来仕事を御一緒できるのを楽しみにしております。



大臣官房文教施設企画・  
防災部施設企画課

## 長屋 美咲

Nagaya Misaki

- ① 理由は2つあります。1つ目は、職員の皆さんが情熱を持って仕事をしていただからです。私も彼らと一緒に仕事をしたいと思いました。2つ目は、教育・科学技術・スポーツ・文化など様々な分野に関わることができるので文部科学省を選びました。
- ② 1年目から、想像以上に重要な業務に関わらせてもらえることに驚きました。国会関係業務も想像以上にあります。
- ③ 施設部では、学校の施設整備支援等を行っています。日常業務としては、施設部業務の取りまとめをしています。
- ④ 文部科学省では教育行政をはじめ、科学技術やスポーツ、文化など様々な業務に携わることができます。刺激的で充実した毎日が待っています。皆さんと一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。



研究開発局  
海洋地球課

## 林 哲子

Hayashi Satoko

- ①博士課程学生の支援など、これまでの学生生活の中で関心を持ってきたことに関わる仕事ができると思ったこと、就職活動中にお話した職員の皆さんの雰囲気の魅力を感じたことが入省の決め手です。
- ②入省前に思っていたよりもテレワーク環境が整っており、入省してから勤務日の半分以上がテレワークです。
- ③課の窓口として、筆頭課（開発企画課）などからの連絡を課内や所管法人（JAMSTEC）につなぐ仕事が多いです。
- ④就職活動中は、将来のことを考えて不安になったり、悩んだりすることも多いと思いますが、自分の気持ちに向き合って、後悔のない選択をしてください。一緒に働く日が来ることを楽しみにしています。頑張ってください！



総合教育政策局政策課

## 藤田 早紀

Fujita Saki

- ①もともと教員になるのが夢で大学は教員養成系の学部に進みました。教育実習等で子供たちと関わる中で周りの環境が子供たちに与える影響の大きさに気づき、制度面で教育に携われないかと考え志望しました。
- ②堅苦しいイメージを持っていましたが、面白い人がたくさんいます。毎日楽しいです。
- ③生涯学習や社会教育を所管する総合教育政策局の連絡窓口として、主に国会関係の連絡調整を行っています。
- ④教育への携わり方の選択肢の一つとして文部科学省で働くという道があると考えています。自分が力を入れてきた経験を仕事で発揮できるチャンスも大きいのでぜひ興味がある方は一つの選択肢にいただければと思います。



大臣官房総務課

## 藤本 駿太郎

Fujimoto Shuntaro

- ①教育現場や研究現場にこれまで長く関わってきた中で、学生や研究者を取り巻く環境や、さらには科学の発展に行政の立場から貢献したいと考えたからです。
- ②このご時世なのでギャップばかりですが、案外在宅勤務や年休、育休などを取得しやすい職場環境だと思いました。
- ③文部科学省の組織体制の管理、取りまとめを担当しております。また、軽微な法令審査も担当しております。
- ④教育、科学技術・学術、スポーツ、文化と多様な分野の施策に関わることができる刺激的な職場だと思います。より良い未来に向けて、人材育成やこれらの分野にご関心がある方はぜひ門を叩いてみてください。



初等中等教育局  
児童生徒課

## 堀越 優行

Horikoshi Yuki

- ①私は子供が大好きです。私の夢は、日本の全ての子供たちが山あり谷ありの人生を歩む中で、「日本に生まれてきて幸せだった！」と思える社会を創ることです。官庁訪問をとおして、文部科学行政ならこの想いを形にできると考え、文部科学省を選びました。
- ②入省がゴールなのではなく、スタートという認識が大切です。私も、遊んでいた学生時代より入省してからの方がよっぽど真面目に勉強しています…笑
- ③いじめ、自殺、虐待、不登校、修学旅行、高校入試、キャリア教育と幅広い政策を担当しています。例えば、コロナ禍で子供たちの自殺が増えています。皆さんはどういう政策を考えますか？
- ④私が就活で大切にしていた価値観は、①苦しくても何とかやっていけそうな職場か、②「こういう人になりたい。」憧れの先輩がいる職場か、③熱い想いや高い志を保ち続けられる職場か、です。いつか霞が関で同志の皆さんと熱い政策論議ができる日を楽しみにしています。



国際統括官付

## 本間 実咲

Honma Misaki

- ① 多くの方々、特に弱い立場に置かれた子供たちや、機会に恵まれないまま成長した大人の方々が、自分自身の可能性を広げ、力を発揮出来るようになるための支援がしたいと思い、文部科学省を選びました。
- ② 入省前はどなたもお忙しく、仕事を一人で覚えるものと不安に思っていました。先輩方が大変親身にご指導をしてくださることに驚きました。
- ③ ユネスコと日本の橋渡しとして、ユネスコの情報を省内に、日本の取組を国際的な場に伝えていきます。また文部科学省のSDGsの取りまとめ（主に教育）も行っています。
- ④ 文部科学省には、想像以上に幅広い経験を持つ方々が集まっています。自分の思いを大切にしつつ、いろいろな方と実際に会って進む道を見つけてください。



総合教育政策局  
調査企画課

## 溝口 朗央

Mizoguchi Aki

- ① 日本の公教育の質の向上に尽力したいと思い、文部科学省を志望しました。物的・人的資源に関する地域格差の解消や政策と現場との連携を推進し、より多くの方が質の高い教育を受け、それぞれが可能性を最大限に発揮できるような環境づくりに貢献していきたいです。
- ② 入省時には想像していなかったような、多様なバックグラウンドをもった職員が働いており、日々刺激を受けられることです。
- ③ 全国学力・学習状況調査やPISA・TIMSSといった学力調査の企画・運営、結果公表などの業務を行っています。
- ④ 文部科学省での仕事は、教育、科学技術、スポーツ、芸術という幅広い分野を通して、より多くの方が充実した未来を描けるよう、検討・調整することだと思っています。ぜひ一緒に、試行錯誤しながら議論していきましょう！



大臣官房総務課

## 藪本 章宏

Yabumoto Akihiro

- ① 自身が地方出身ということもあり、生まれ育った環境などの外的要因によらず、誰もが遅く人生を歩んでいける社会にしたいという思いがありました。そのためには、文部科学省が所掌する公教育の充実が重要であると考え、志望しました。
- ② 1年目は雑務が主だと思っていましたが、むしろ省の方針に関わる案件に多く携わらせていただいております。ギャップを感じています。
- ③ 主な業務は危機管理です。新型コロナウイルスなどの感染症や地震などの災害が発生した際に、最前線に対応に当たる、省の舵取り役を担っています。他には、国会に付託される請願に関する業務など、多種多様に担当しています。
- ④ 私自身、自分が国家公務員になろうとは全く思ってもいませんでしたが、最終的には職員の皆さんの人柄に惹かれ、文部科学省を選びました。この職場には、そんな尊敬できる先輩方がたくさんいます。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしております。



研究開発局原子力課

## 山本 真奈美

Yamamoto Manami

- ① 現行の教育制度に疑問を感じるがあったため、その制度に対して根本から関与できる文部科学省を志望しました。また、教育、科学技術、スポーツ、文化と幅広い分野の業務に従事できる機会があることも、様々な知識、視点を学ぶことができるという点で魅力的でした。
- ② 職員は真面目で気難しい方が多いのかなという印象がありましたが、おしゃべり好きな人が多く、雑談も結構します！
- ③ 核燃料サイクル技術の研究開発やその関連施設の廃止措置に関わっています。業務内容としては各種照会対応や連絡業務等を行っています。
- ④ 正直、実際に働くまで自分がどの仕事に向いているかなんてわかりません。でも、やりたいと思うことがあるなら、向き不向きに関わらず頑張ること、楽しむことも大切だと思います。文部科学省にはそういう気持ちに向き合ってくれる環境があると思います。就活は悩むことが多くあると思いますが、皆さまが後悔のない選択ができるよう、応援しております。



高等教育局  
私学部私学行政課

吉田 宏昭

Yoshida Hiroaki

① 過疎地域で生まれ育ち、都市と地方の教育格差を感じた経験から、誰もが関わる教育の制度や環境整備が重要であると考えました。文部科学省では、この課題に対して多角的にアプローチができると考え、志望しました。

② 業務の幅がとても広いことです。想像以上に様々な仕事をする機会をいただき、そのいずれにおいても新しい発見の連続です。

③ 私立学校を設置する学校法人の制度を担当する部署に所属しています。連絡調整業務や会議運営を主に行っています。

④ 文部科学省は、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化と所掌業務も多岐にわたり、どの分野においても、人々の生涯に関わる業務に携わるため、責任が大きいです。とても魅力的な仕事だと思います。少しでも興味を持っていただけたら嬉しいです。



総合教育政策局男女共同参画  
共生社会学習・安全課

吉永 理央

Yoshinaga Rio

① 文部科学省の所管する分野を通じて、地球規模で活躍できる人づくり、文化・スポーツなどのソフトパワーの涵養・発信、そして科学技術の発展に携わり、日本の国際競争力の向上に貢献したいと考えたからです。

② 「仕事」と聞くと堅苦しいイメージがありましたが、実際の職場は和気あいあいとした雰囲気、毎日楽しく過ごしています。

③ 課内外の連絡調整に加え、省内の男女共同参画関係施策の取りまとめをしており、日々内閣府とやりとりをしています。

④ 思い返すと、試験勉強から内定までの道のりが長く、長期戦だったと感じます。試験や官庁訪問等で、時には思い通りにいかないこともあるかもしれませんが、とにかく諦めずに最後まで力を尽くして、頑張ってください。